

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1996 年 5 月 ~ 1996 年 7 月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (May, 1996-July, 1996)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

1) 伊豆大島南東沖の地震 (第 1 図)

5 月に大島南東沖で小活動があった。観測された地震数は 30 個で多くが 5 / 7 と 5 / 17 に集中している。深さは 12 ~ 16 km となっている。最大は 1996 / 5 / 7 13:00 13.7 km M4.9 で他に, 1996 / 5 / 17 02:02 15.4 km M4.7 が観測されている。1986 年 11 月の伊豆大島噴火を伴った地震活動の時に起きた M6.0 の地震の発生場所に近い。(1986 / 11 / 22 09:41 15.1 km M6.0)

2) 伊東市新井付近 (第 2 図)

5 月, 6 月とばらばらとおきていたが, 7 月 7 日よりやや多くの地震が新井付近にまとまって観測された。7 月 15 日と 7 月 20 日, 21 日に地震数のピークをもつ。この期間の観測された地震は 258 個。5 ~ 10 km の深さを持つ。M は 1 ~ 2 で大きいものはない。細かく見ると小さい震源域に分かれて移動している。

3) 新島, 神津島 (第 3 図)

新島, 神津島付近では, 5 月と 7 月に群発した。小クラスターに分かれて活動域が 2 ~ 3 日で移動している。5 月の活動域はまず神津島の北東沖が活動し (1996 / 5 / 2 21:56 5.2 km M4.4), 続いて, 新島北西部が活動した (1996 / 5 / 5 10:25 8.4 km M4.0)。6 月になって, 式根島より 15 km 位東の沖でまとまった活動があり, 6 月 28 日には新島の北西 10 km 位の所に活動が移った。(1996 / 6 / 28 18:48 12.5 km M4.2)。7 月になってまず, 式根島の南を北西 - 南東に連なる, 地域で活動し, 次に, 新島の南西で北西 - 南東のトレンドを持つ活動域が活発になった。この活動域は 7 月 17 日と 7 月 24 日に多くの地震が集中している。(1996 / 7 / 17 12:35 3.6 km M4.0, 1996 / 7 / 17 12:51 3.7 km M4.5, 1996 / 7 / 17 13:21 3.7 km M4.6, 1996 / 7 / 17 13:59 3.5 km M4.3, 1996 / 7 / 24 21:47 5.5 km M4.1) メカニズムはいずれも北西・南東の p 軸をもつ。7 / 17 12:51 は逆断層成分があるが, 他は横ずれ型である。

この付近の活動は銭洲海嶺にそった北東 - 南西の方向と, 直行する方向の活動線があるが, 最近は直行する活動が多い。

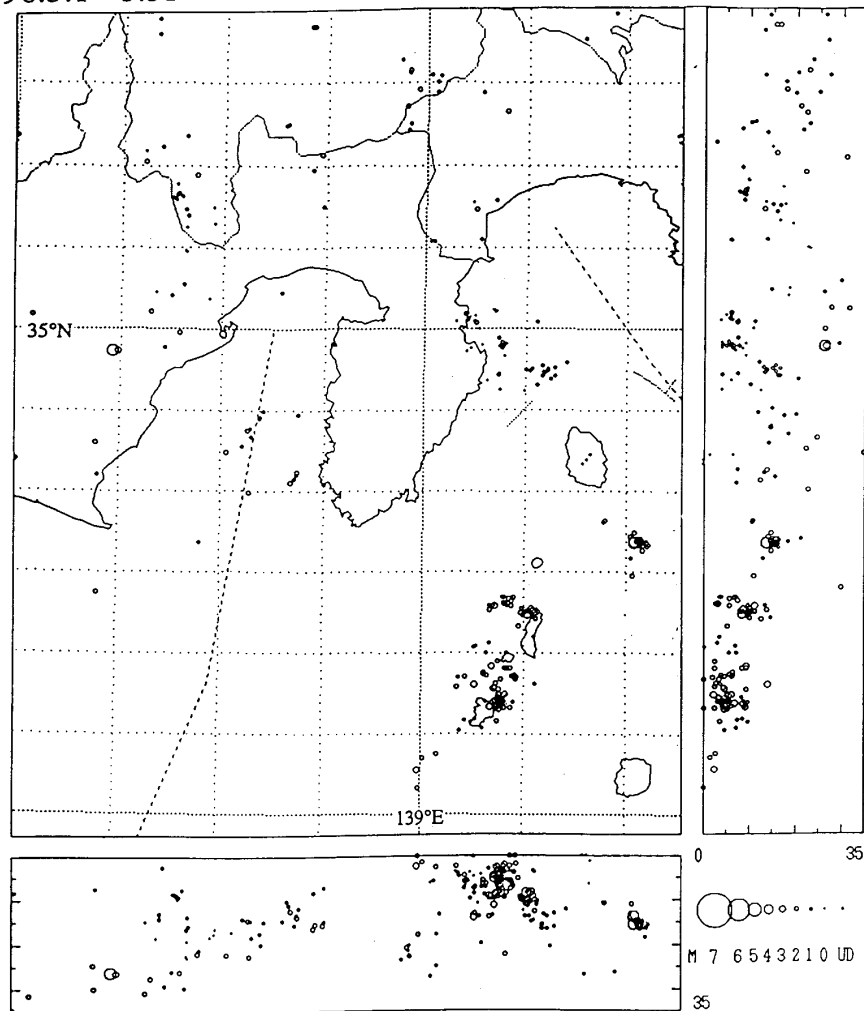
4) 石花海 (せのうみ) の活動 (第 1 図)

駿河湾中央部のせのうみ付近では 1995 年の秋頃より地震が発生しているが, 今期は中央部で 2 カ所, 伊豆半島よりも 2 カ所で 23 個の地震が観測された。まとまった活動はない。M3 以上は観測されていない。M2 以上が 7 個観測されている。深さは 5 km ~ 23 km となっている。

(文責 荻野 泉・萩原弘子)

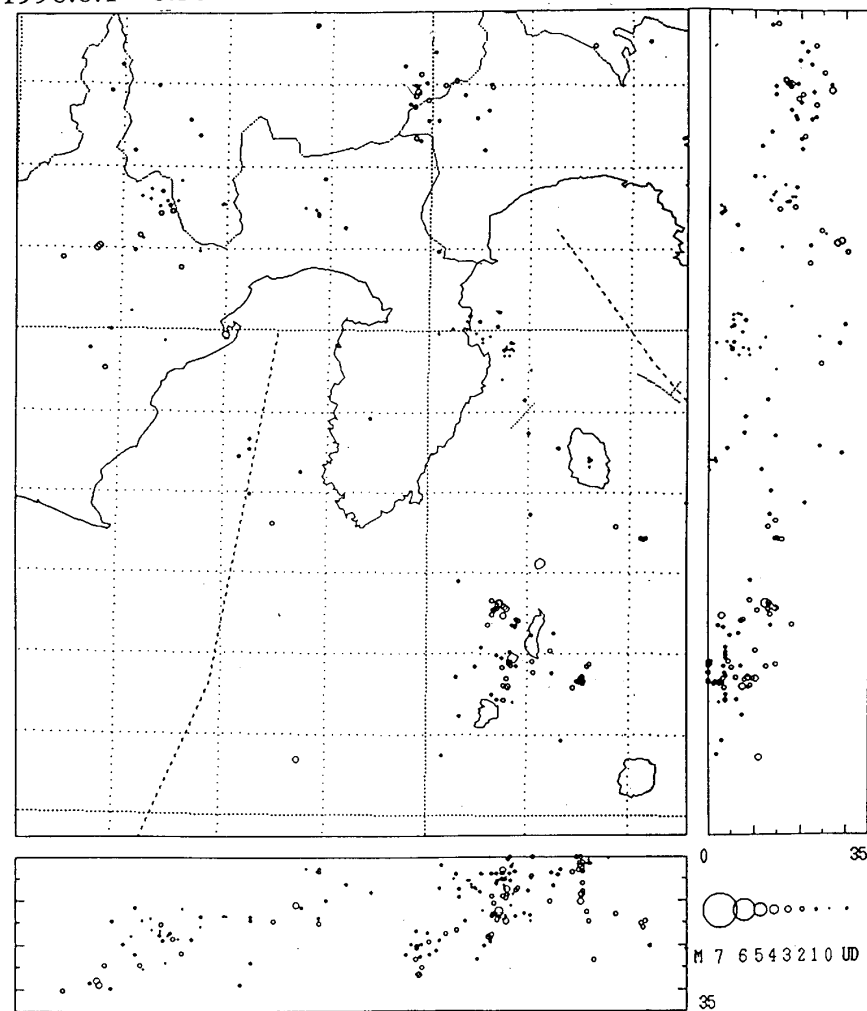
1996.5.1~5.31

N=290



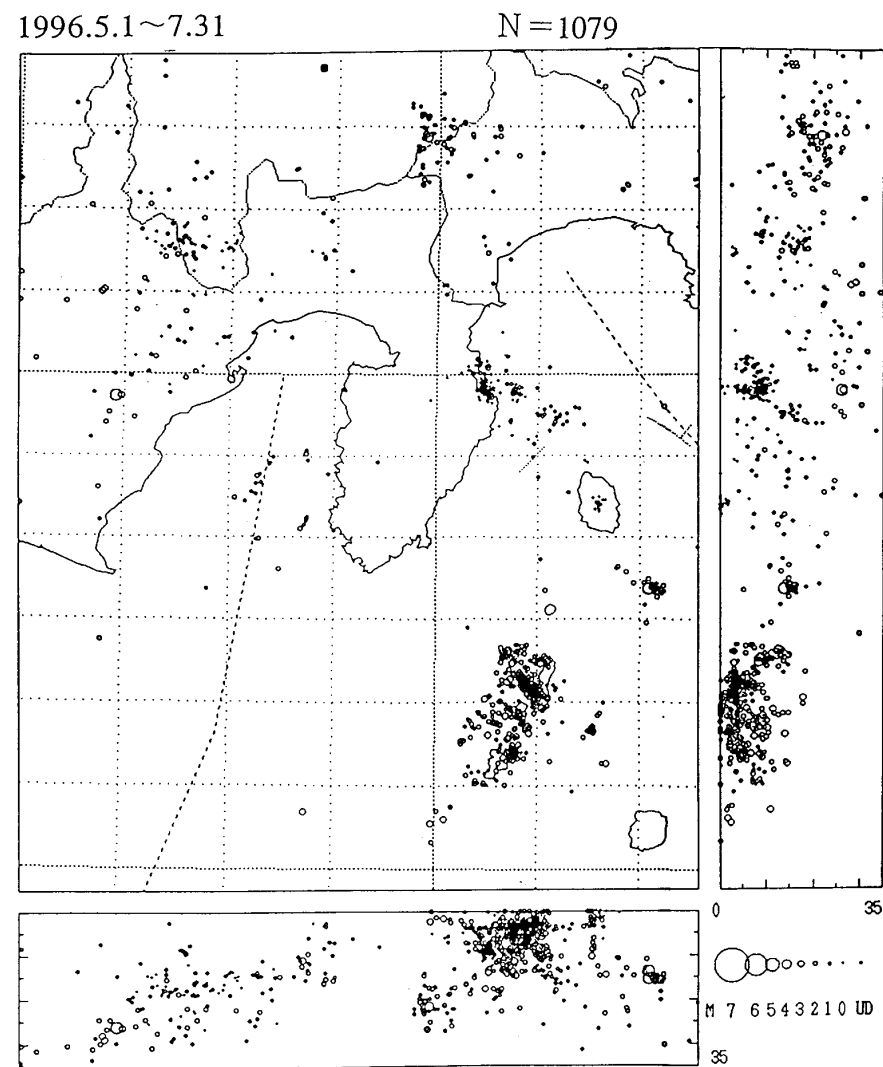
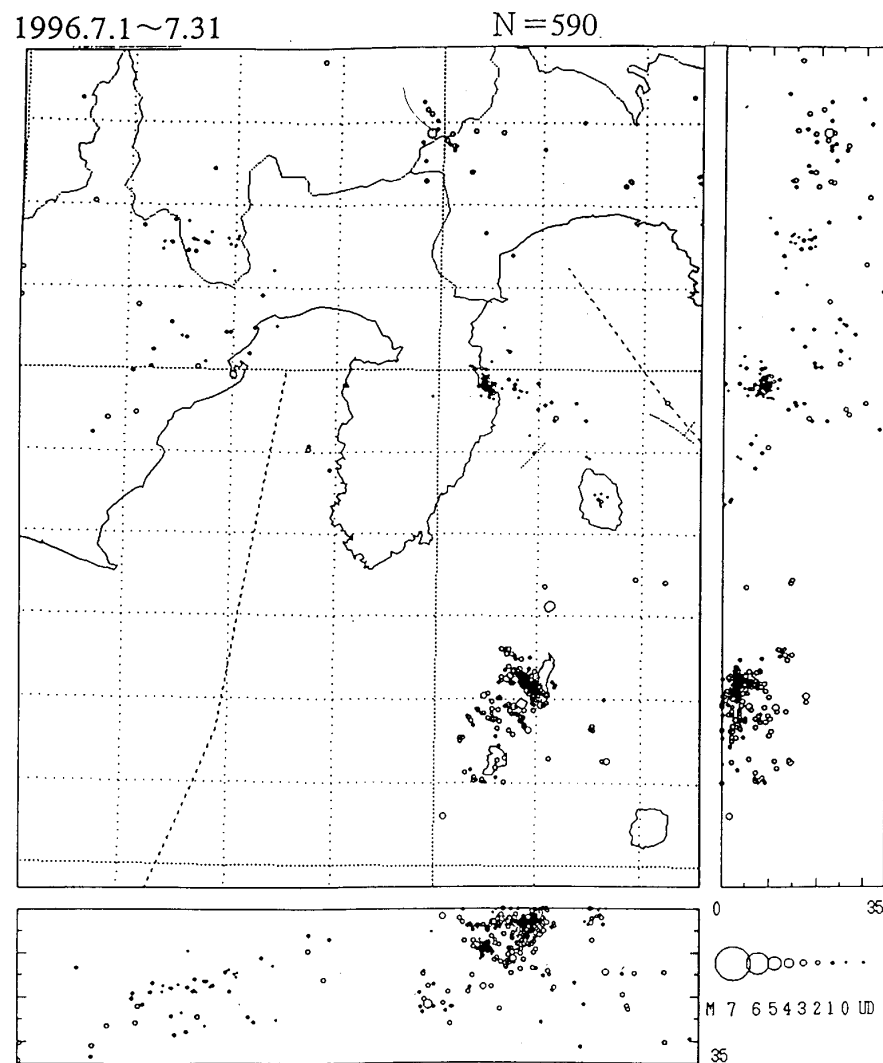
1996.6.1~6.30

N=199

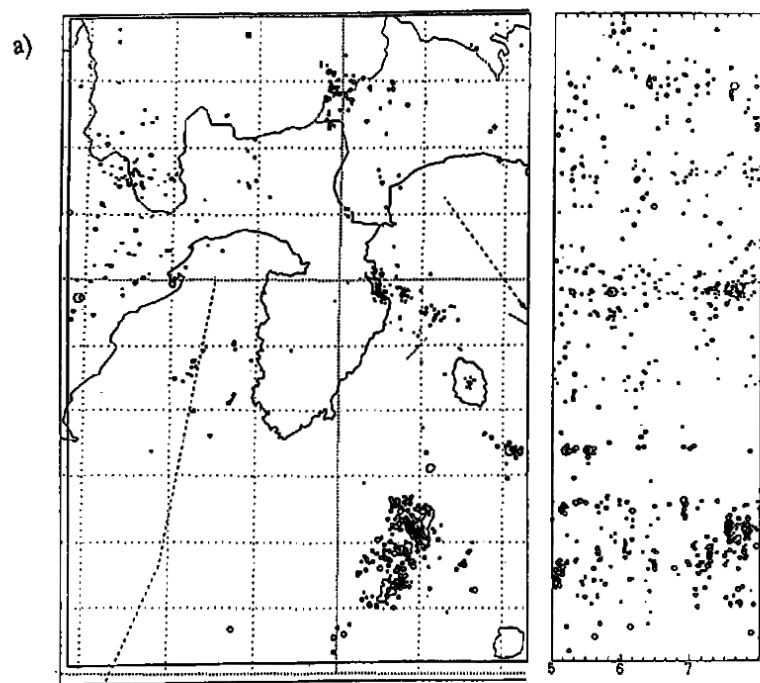


第1図 伊豆半島とその周辺の地震活動（1996年5月～1996年7月）

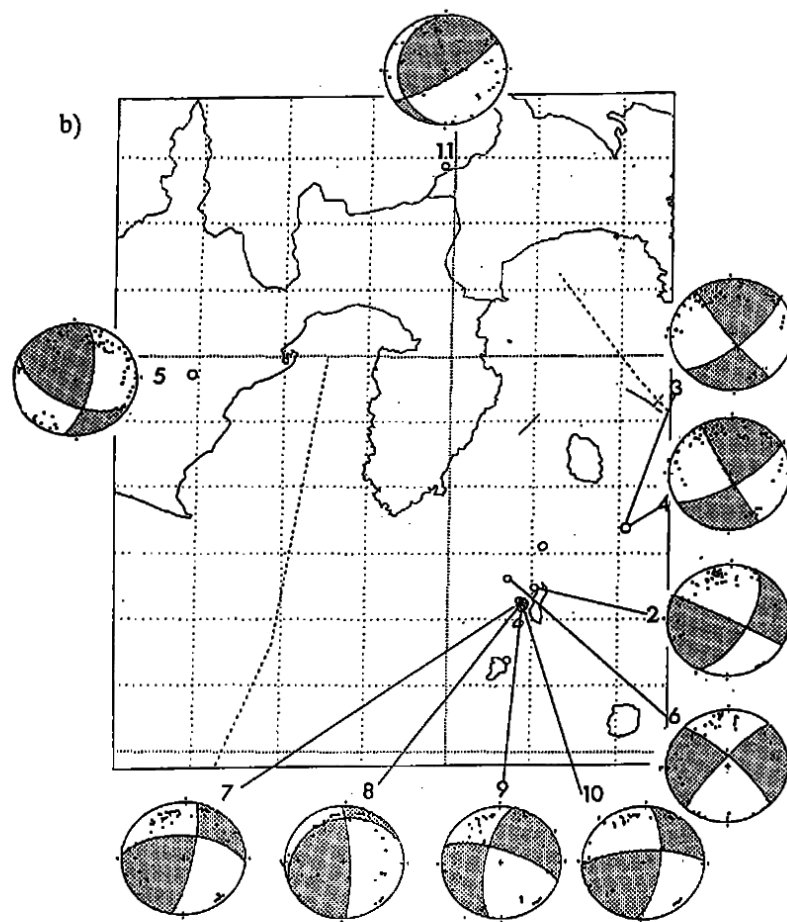
Fig. 1 Seismicity in and around the Izu Peninsula (May, 1996-July, 1996) .



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



1996年5月1日～7月31日の時空間分布図（南北）

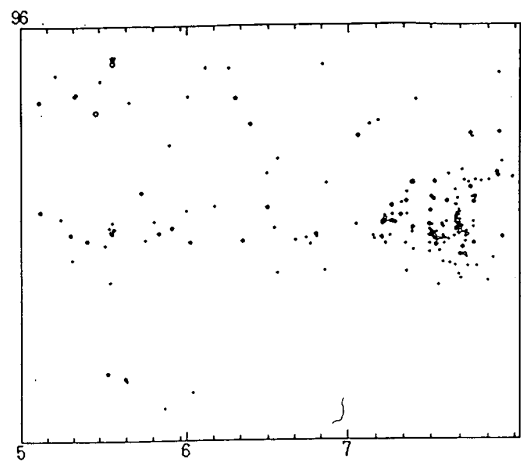


伊豆半島周辺の主な地震のメカニズム解 $M \geq 4.0$ (96.5.1～7.31)

1	96/05/02	21:56:14.1	34.2293N	139.1826E	5.2km	M4.3
2	96/05/05	10:25:16.6	34.4139N	139.2584E	8.4km	M4.0
3	96/05/07	13:00:33.7	34.5601N	139.5198E	13.7km	M4.9
4	96/05/17	02:02:32.3	34.5634N	139.5219E	15.4km	M4.7
5	96/05/27	05:38:16.7	34.9541N	138.2326E	26.0km	M4.9
6	96/06/28	18:48:47.8	34.4363N	139.1795E	12.5km	M4.2
7	96/07/17	12:35:15.2	34.3749N	139.2310E	3.6km	M4.1
8	96/07/17	12:51:00.0	34.3620N	139.2216E	3.7km	M4.5
9	96/07/17	13:21:11.3	34.3789N	139.2249E	3.7km	M4.6
10	96/07/17	13:59:02.5	34.3805N	139.2143E	3.5km	M4.3
11	96/07/18	19:55:27.1	35.4786N	139.9720E	21.6km	M4.0
12	96/07/24	21:47:40.6	34.3658N	139.2285E	5.5km	M4.1

第1図 つづき a)時空間分布図, b)主な地震活動 ($M \geq 4.0$)

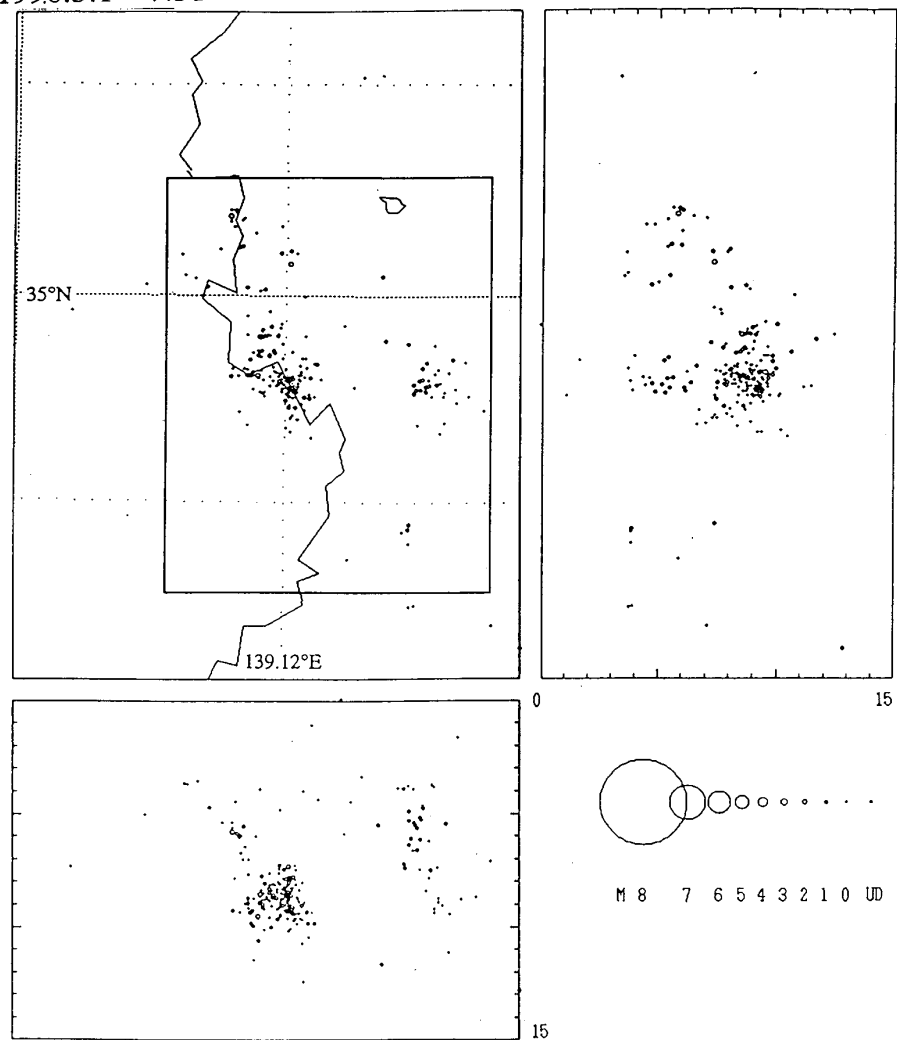
Fig.1 (Continued) a)Time-Space Plot b)Major Earthquakes ($M \geq 4.0$) .



時空間分布図（南北）

1996.5.1~7.31

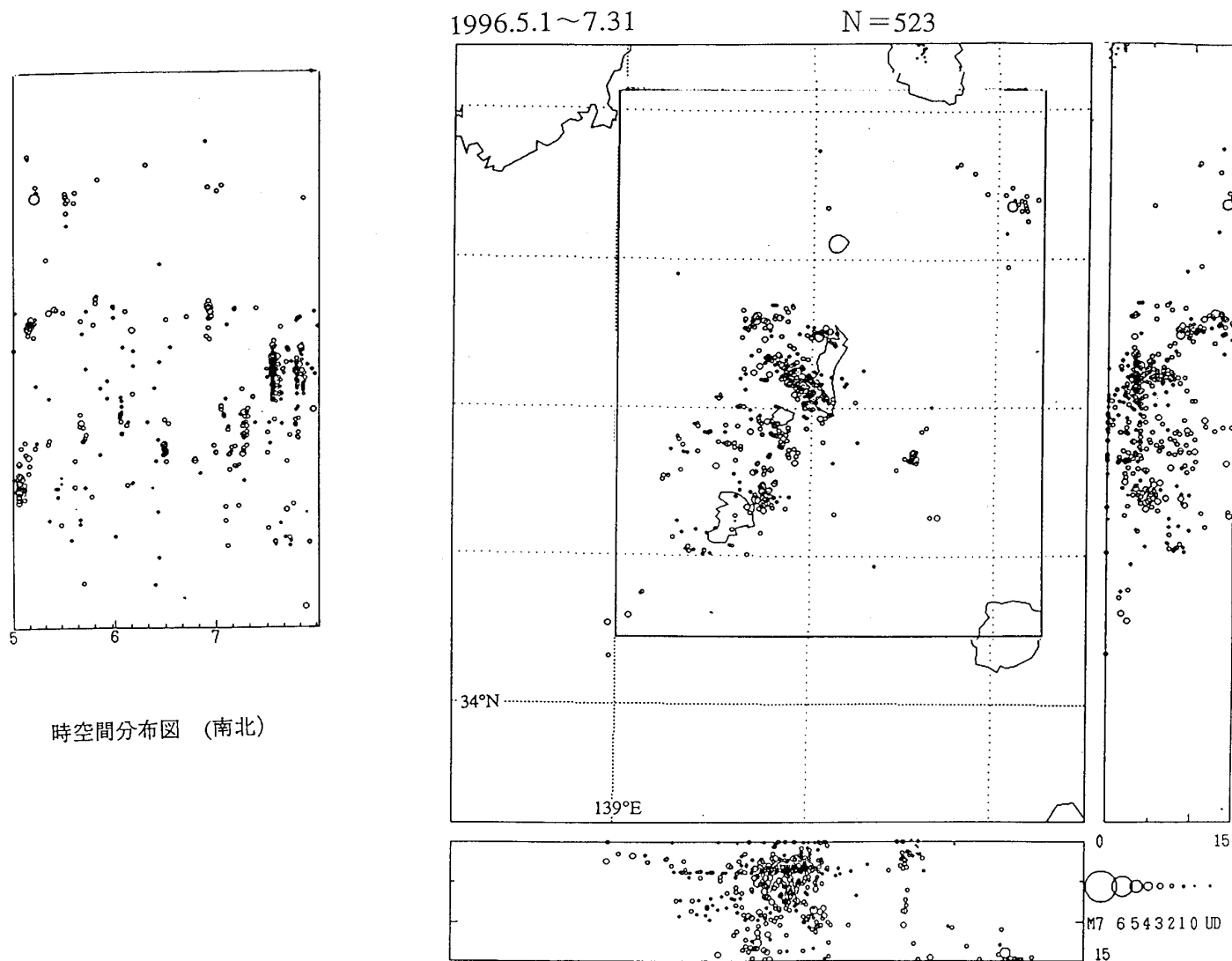
N = 245



伊東市新井付近の震源分布図

第2図 伊東市新井付近の震源分布図（1996年5月～1996年7月）

Fig. 2 Seismic Activities around the city of Ito (May, 1996-July, 1996) .



1996年5月1日~7月31日の新島、神津島周辺の震源分布図

第3図 新島・神津島付近の地震活動 (1996年5月~1996年7月)

Fig.3 Seismicities in and around the Niihima and the Kouzushima Island (May, 199-July, 1996) .